

平成15年9月8日  
原子力安全対策課  
(15 - 60)  
<21時10分記者発表>

## 新型転換炉ふげん発電所での火災警報の発報について

〔新型転換炉ふげん（新型転換炉；定格電気出力16.5万kW）は、  
平成15年3月29日に運転を終了した。〕

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

本日9月8日17時06分頃、「トリチウム除去装置建屋」の火災警報が発報した。  
重水精製建屋の排気筒から白い煙が出ているのが確認されている。

現場に立ち入ったところ、同建屋1階に設置されている後置フィルタが黒く焦  
げているのが確認されるとともに、ビニールが焦げたような臭いがしているのが  
確認された。現在、さらに現場調査を行っているところである。

なお、重水精製建屋排気筒など、放射線モニタの指示に変動はなく、環境への  
放射能の影響はない。

重水精製装置、については停止中である。

（9月5日18時20分 記者発表済み）

18時22分に敦賀美方消防組合消防隊5名、自衛消防隊2名、安全管理課1名が  
トリチウム除去装置建屋に入域し、18時28分、敦賀美方消防組合により鎮火が確  
認された。

今後、火災の発生原因について、調査を行う予定である。

<時系列>

9月1日

11:06 トリチウム除去装置通常運転開始（これまでは定期点検中であった）

9月8日

- 4:01 トリチウム除去装置の「排気ダクトトリチウムモニタ高高発生」  
（原因はノイズによる誤作動であることを確認）
- 16:21 トリチウム除去装置を手動で停止  
（弁点検作業のため。通常動作したことを確認）
- 16:46 トリチウム除去装置を再起動
- 17:06 重水精製建屋の火災警報が発報（光電アナログ警報発報）
- 17:14 トリチウム除去装置を手動で停止（火災警報発報による）  
現場作業員は退避
- 17:20 ふげん発電所事故対策本部設置  
当直より119番通報
- 17:22 重水精製建屋トリチウムモニタ指示値異常なし
- 17:34 発電課2名と安全管理課2名がトリチウム除去装置建屋入域（空気呼吸器装備）
- 17:45 後置フィルタおよび接続配管が黒く焦げていることを確認
- 17:47 自衛消防隊2名がトリチウム除去装置建屋入域（空気呼吸器装備）
- 17:49 敦賀美方消防組合ふげん発電所到着
- 17:55 重水精製建屋排気筒から白煙の放出が継続していることを確認
- 18:22 敦賀美方消防組合消防隊5名、自衛消防隊2名、安全管理課1名がトリチウム除去装置建屋入域（空気呼吸器装備）
- 18:28 敦賀美方消防組合により鎮火確認（火災扱い）
- 18:32 火災警報音響停止
- 18:39 後置フィルタ表面温度確認（約100℃）
- 20:55 県職員2名がトリチウム除去装置建屋入域
- 21:03 重水精製建屋排気筒からの白煙の放出は停止していることを確認



(参考) 後置フィルタの状況